術後疼痛管理チーム

術後疼痛管理チームとは？

術後の痛みの管理と吐き気などの副作用への対策を行うために

医師・薬剤師・看護師・臨床工学技士で構成された医療チームです。

医師　　：痛み評価のもと薬剤の処方、調節をします

薬剤師　　：薬剤の管理や副作用の確認をします

看護師　　：痛み評価や患者さんの情報収集をします

臨床工学技士：薬剤を投与するために使用する機器の管理をします

Q:痛みはどのように表現すればいいの？

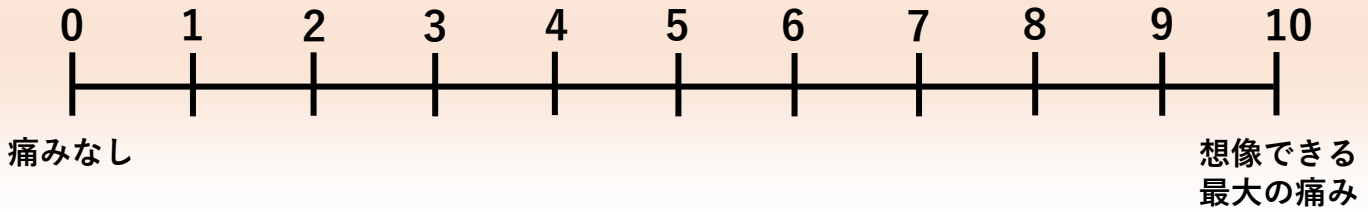
A:誰でも表現できるように0～10の段階で答えてもらいます。

個人の感覚で大丈夫ですので教えてください。

痛みは数字(NRS)で表現してください

NRS (Numerical Rating Scale)・・・？

0が痛みなし、10が想像できる最大の痛みとして
0～10の数字で現在の痛みがどの程度か表すスケールです。



活動内容（回診の流れ）

- 回診前カンファレンス

  病棟看護師より患者さんの痛み・副作用の有無などの申し送りを受けます

- 回診

  ベッドサイドへ訪問し、以下の内容を確認させていただきます

  - 痛みの評価
  - 薬剤の使用状況
  - 吐き気等の副作用の有無

- 回診後カンファレンス

  患者さんへの今後のサポートについて話し合います

術後疼痛管理チームからひとこと

術後の痛みは、我慢する必要はありません。

術後疼痛管理チームは術後の痛みを速やかに評価し、痛みがある場合は適切に鎮痛薬を使用します。また、薬剤による副作用にも対応します。

術後の痛みの軽減を目指し、患者さんが安心して手術を受けられるよう努めていきます。